

エルサルバドル政治経済月報

(2018年4月分)

2018年5月
在エルサルバドル大使館

[大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

[大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護、日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し、風通しの良い職場環境の維持。

政治

1. 制憲議会選挙(3月)結果の確定(5日)

最高選挙管理委員会が各政党に通知して、最終的に確定。ARENA 37議席、FMLN 23議席、GANA 10議席、PCN 9議席等。

2. 第8回ラ米サミット(14日)

ペルーのリマにおいて、マーティン・ビスカラ大統領及びアルマグロ OAS 事務局長の共同開催で実施され、当国からマルティネス外相が出席。

3. 「マ」外相の大統領選出馬及び休職表明 (18日)

5月27日に予定されている FMLN の党内選挙での大統領候補としての出馬を表明。既にヘルソン・マルティネス前公共事業大臣が出馬表明しており、FMLN の大統領候補はこの両名のどちらかになることが確定。同時に、「マ」外相は、4月23日～5月27日間の大臣職の休職を表明。この間、カスタネダ外務次官が職務を代行する。

4. 文化省創設 (20日)

次元の高い文化国家の建設を目指して、従来の文化庁が文化省に格上げされ、レガラド文化長官が文化大臣に新たに任命された。

5. ARENA 大統領候補の選出(23日)

党内選挙の結果、カジェハ・カジェハグループ副会長が、シマン前全国製造業協会 (ASI) 会長及びダビッドソン製薬会社社長を加えた三つ巴の選挙戦を大差で制した。「カ」候補は当国最大

経済

1. 2017 年輸出

中銀の統計によると、2017 年の輸出総額は 52 億 8,110 万ドルとなり、その内 91.7%が FTA 等の自由貿易協定を有する国向けの輸出である旨公表。また、輸出製品の 55%は、下着、外装、砂糖、コーヒー、繊維素材、プラスチック等の約 10 製品に集中している。

2. IMF による当国経済への推奨

IMF は報告書の中で、GDP 成長率 2.3%、GDP 比 2%の財政調整、付加価値税（VAT）増税（13%から 15%）、更なる最低賃金の引上げを行わないこと、民間投資の拡大、ビジネス環境の改善、更なる雇用の創出、年金受給資格年齢の引上げ（現在、女子：55 歳、男性：60 歳）、公的債務残高の対 GDP 比減少（現在の 65%から 50%まで）をエルサルバドル政府に推奨した。

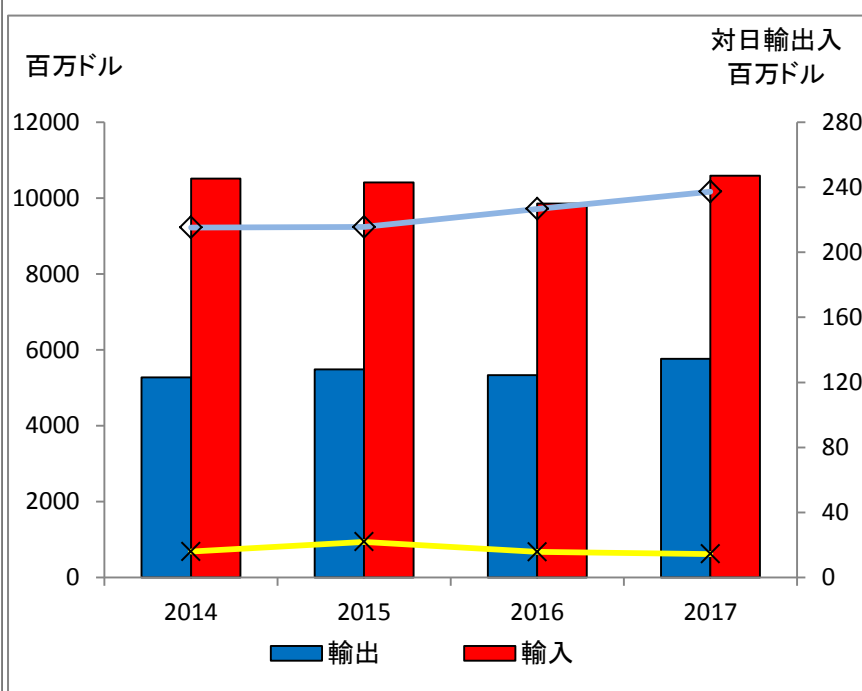
3. 沿岸地域への投資

エルサルバドル政府は、本年度において沿岸地域に 2,108 万ドルの投資を行う旨発表。右投資は IDB による 4,000 万ドルの借款「生産回廊プロジェクト」の一部であり、沿岸地域の 30 市町村の観光インフラ、農産・水産加工業、中小零細企業支援に使用される。

4. SICA「中米物流ロジスティックス地域政策枠組み」開始式

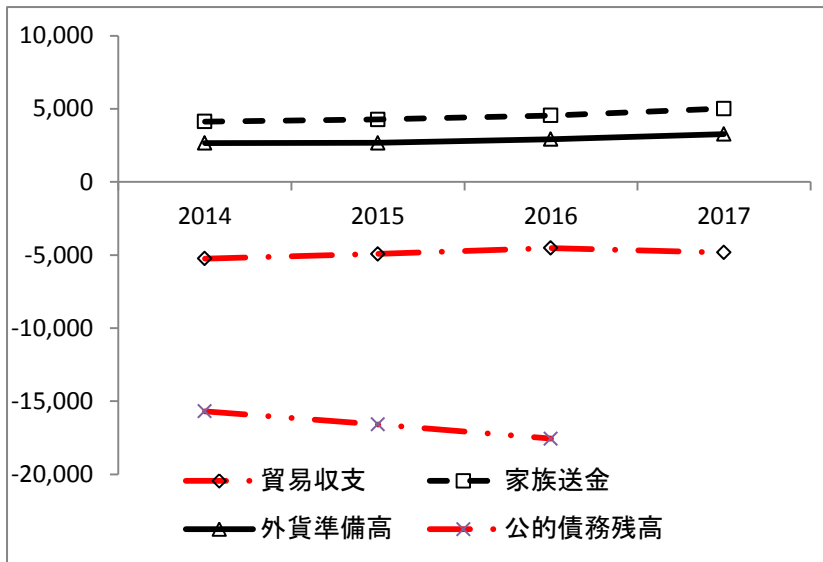
19 日、中米統合機構（SICA）事務局において、「中米物流ロジスティックス地域政策枠組み」の開始式が開催され、日本から岡本外務大臣政務官が同開始式に出席した。

本地域政策枠組みは、中米地域のロジスティックス向上、通商円滑化、物流コストの削減、手続主義の改善を目的としており、そのために必要なインフラやシステムの策定を実施する。日本は、右地域政策枠組みにおけるマスタープラン策定の技術協力を実施する予定。



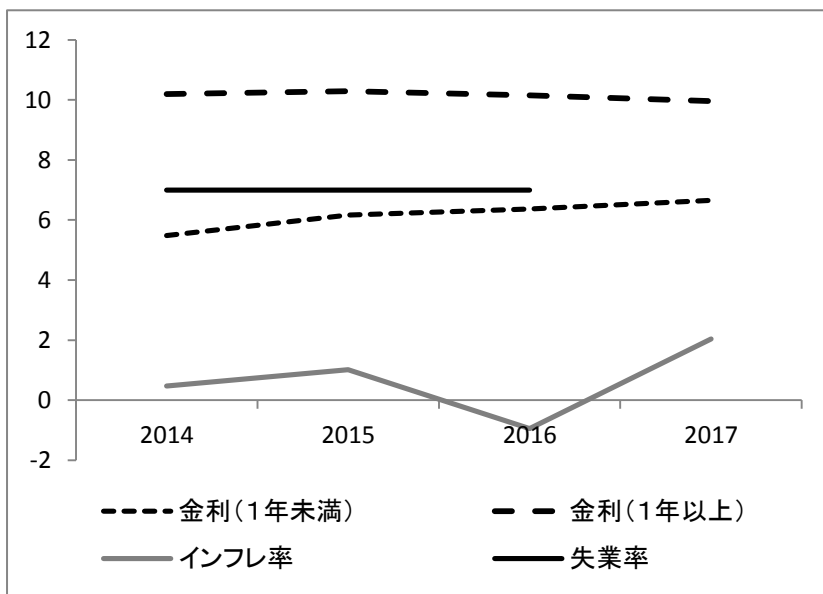
・2017 年度輸出額は前年比で 6.3% 増加し、57 億 6 千万ドルとなった。中でも、衣服、繊維、砂糖の輸出が輸出額増加に寄与した。

・輸入に関しては、前年比で 7.8% 増加し、105 億 9,200 万ドルとなった。



・輸出は増加したものの、貿易赤字は前年比で9.6%増加し、48億3,200万ドルとなった。

・2017年の家族送金額はここ数年で最も高くなり、前年比で9.7%増加し、50億2,100万ドルとなった。米国からの家族送金は全体の約97.2%を占める。



・2017年度のインフレ率は2.04%となった。主に、住居、水、電気、ガス価格が上昇したことに起因。

出所：中央銀行，経済省統計局より作成

治安

【主要事件・報道】

1. 当地主要紙の報道によると、4月の殺人件数は315件となり、1月～4月の合計は1,254件（前年同時期よりも約12%増加）となった。また、そのうち、女性の殺人被害件数は152件、犯罪者の死亡者件数は390件となった。

2. 4月3日、サンサルバドル市内を走行（ルート44）するマイクロバス内にて、二名の強盗が乗客の手荷物を強奪しようとしたところ、同乗していた警察官に取り押さえられ、強盗は逮捕された。しかし、その課程で、乗客3名が巻き込まれ、刃物により軽傷を負い、病院へ救急搬送された。公共バスにおける強盗・窃盗事件は日常的に発生しており、車内での銃撃に巻き込まれ、負傷する事件も起きていることから、引き続き、公共バスの利用は控える必要がある。

3. 4月7日午前8時頃、サンサルバドル県アギラーレス市サンフランシスコ村の入口にて、爆弾が爆発し、現場検証をしていた警察官3名が重軽傷を負った。治安当局によると、殺人事件の通報を受けた警察官3名が現場に急行したが、実際は遺体に見せかけた人形であり、その中に隠してあった手榴弾2個が現場検証中に爆発したものの。治安当局によると、現場付近に潜んでいた犯罪者（マラス）が遠隔操作により警察官3名を狙い、爆発させたものと見ている。

なお、犯行目的については明らかになっていないが、2016年3月末から行われているマラスに対する特別措置の半年間延長が国会で採択されたことに対するマラスの報復であるとの見方もある。

2月にも同様の爆発事件（車両爆弾）が発生しており、今後も同様な事件が発生する可能性は否めないことから、不審物（宛名の無い小包や紙袋等）には決して近づかず、爆発物（不審物件）発見時の三原則「触るな」「踏むな」「蹴飛ばすな」を励行し、身の安全の確保に努めていく必要がある。

4. 報道によると、ARENA議員であるロドリゴ・アビラは、当国における行方不明者の数が2014年行方不明者数1,845名に対し、2016年、2017年は倍増（各3,859名、3,600名）、1日10名が行方不明となっている旨、コメントをした。また、被害届けが出されていない行方不明者も多く、実際の行方不明者数は、かなりの数字になるものと見られている。一般的に、殺人件数が減少した場合、行方不明者数が増加する傾向があるとされている。

5. 報道によると、2018年1月～4月の交通事故件数は、前年同時期と比べ、減少しているものの、交通事故による死傷者数は増加、危険運転による逮捕者数も増加している。主に、飲酒運転や速度超過等が交通事故の原因とされている。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 4月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は1件。

4月3日夜間、サンサルバドル市エスカロン地区（75a avenida 通りと通りの交差点付近）にて、玩具ピストルにて強盗を繰り返していた犯罪者が何者かに射殺される事件が発生した。治安当局によると、殺害された犯罪者は、度々、同地区交差点にて強盗を繰り返しており、その界隈で周知の人物であったため、何らかの報復を受けた可能性があるとのことであった。

比較的安全と言われているエスカロン地区であっても、時間と場所を間違えれば、犯罪被害に遭う可能性は高くなるため、特に夜間における不要不急の外出は避ける必要がある。

2. パンチマルコ市内に位置する「悪魔の門」として知られる観光地において、岸壁から女性が落ち、死亡する事件が発生。事故によるものか自殺によるものかは判明していないが、治安当局は自殺の可能性が高いという見解を示している。

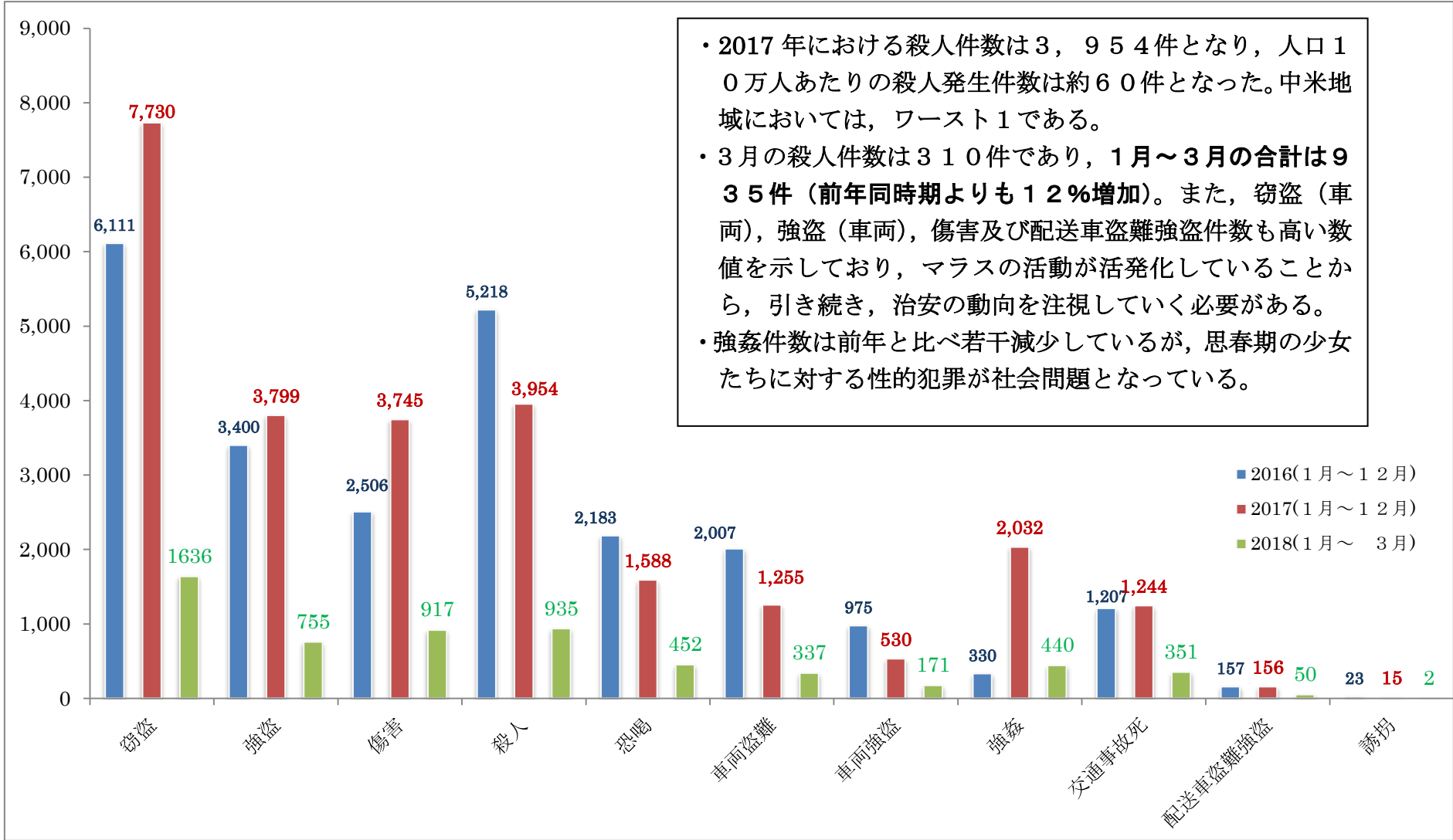
【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計
主要 11 犯罪（3 月）過去 2 年との同時期の比較



主な来館者

- 4月6日 ASEJA（留学、研修生協会）新執行部挨拶
- 4月9日 ANDA（水公社）新総裁表敬挨拶
- 4月10日 ICRC MoveAbility（国際赤十字傘下）教育プログラム説明
- 4月10日 アライアンスフォーラム財団、在京エルサルバドル大使、公益資本主義、生活改善プロジェクト発掘
- 4月10日 岩倉 2025年国際博覧会誘致特使、大阪万博開催支援
- 4月12日 FUNDE（社会開発財団）世銀との協働プロジェクト説明
- 4月12日 新メキシコ大使、着任挨拶
- 4月12日 エルサルバドル柔道連盟会長他、挨拶
- 4月13日 元レーサー土屋圭市氏、ドリフトイベント参加
- 4月13日 日本企業懇談会（三菱商事、日本工営、フジタ、住友商事、豊田通商、安藤間、YKK、IUSA、JICA）
- 4月17-19日 外務省岡本政務官、金子秘書官、中野中米カリブ課長
- 4月25-27日 公館長表彰式（ジョルト氏、生け花インターナショナル、ASEJA）
- 4月25日 JUNTOS 3月訪日メンバーとの懇談
- 4月26日 Nonualcos 市役所連盟（La Paz 県/San Vicente 県の18市役所で構成する連盟）代表挨拶
- 4月27日 Grupo JF（国際交流基金留学生）との懇談